

消防・防災活動相互応援 協定書

第1条 (目的)

この協定は足立区本木1丁目南町会（以下「甲」という。）と医療法人社団 医善会 いずみ記念病院（以下「乙」という。）の地域内で災害、火災等（以下「災害等」という。）が発生した場合、相互に協力して人命救助、救護活動を重点とした消防活動の相互援助について必要な事項を定めることを目的とする。

第2条 (応援方法等)

1 甲又は乙の災害等が発生した場合の応援等は次のとおりとする。

(1) 甲又は乙は、応援を必要とする場合に非常ベル又は電話などにより、応援側に災害等の発生を速やかに通報するものとする。

(2) 応援側は、(1)の通報を受けたとき又は他の方法で災害等を覚知した場合、被応援側の責任者の要請又は応援側責任者の状況判断により応援するものとする。

(3) 応援側の活動は、原則として被応援側最高責任者の指揮に従い活動するものとする。

2 応援要請のための甲、乙間の通報方法は、別紙細部協定書によるものとする。

第3条 (資器材等の提供)

甲又は乙は被害等を覚知し応援に当たる場合、それぞれが所有、管理又は占有する建物、敷地等の施設および担架、毛布等応援、救出、救護に必要な資器材を可能な範囲で提供するものとする。

第4条 (活動の内容)

応援側の活動は、救出・救護活動を主眼とし原則として避難誘導、傷病者の搬送、現場救護所の支援をおこなうものとする。なお、甲および乙の責任者は、応援者の安全などを十分確認し任務の指示を行うものとする。

第5条 (警戒区域内の立ち入り)

甲および乙の応援者が救急隊および消防隊到着後に現場に駆けつけた場合は、付近の隊員にその旨報告し、指示に従って行動するものとする。

第6条 (経費の負担)

応援に要した経常的経費及び事故により発生した経費は、相互の話し合いにより決定するものとする。

第7条 (災害補償)

この協定に基づく防災・消防活動又は訓練により傷病者等が発生した場合は、関係法令の要件に該当するときは、その定めるところにより補償申請を行うことができるものとする。

第8条 (訓練等)

甲および乙は、第1条の目的を達成するため、相互連絡をとり合同で努めて年1回以上訓練を実施するものとする。

第9条 (連絡協議)

甲および乙は、災害等の発生時の応援対策に関わる情報交換など連絡協議の場を適宜設けるものとする。

第10条 (協議)

この協定の運用について疑義が生じた場合は、その都度甲および乙両者間において協議決定するものとする。

細 部 協 定 書

- 1・ 協定書第2条2に定める応援要請の伝達先は次のとおりとする。
(1) いずみ記念病院から 町会への伝達先

町会長 氏名 足立区 本木1丁目南町会 会長 柴田 健
電話番号 03-3886-6630

防災担当者 氏名 病院長または防火管理者
電話番号 03-5888-2111

- (2) 町会からの緊急連絡先

いずみ記念病院
事務局 電話番号 03-5888-2111

- 2・ 応援要請するときは災害の内容、場所応援人数、必要器材を通報するとともに、集結場所を指示するものとする。
- 3・ 甲、乙ともに応援要請を受けたときは、それぞれに応援協力者に対し、あらかじめ定める緊急連絡網により伝達を行うものとする。
- 4・ 甲および乙の応援者は、災害および火災等の発生した現場付近の活動しやすい場所に集結し被応援者側の指示に従い活動するものとする。
- 5・ 町会長および施設長は、氏名、電話番号などに変更があった場合は、地帯なく事務局（いずみ記念病院事務長）に連絡するものとする。
- 6・ 事務局は、変更事項の連絡を受けたときは、速やかに他の町会長にその旨を連絡するものとする。

第11条 (協定書の保管)

この協定を証するため正本2通を作成し、甲および乙それぞれ1通を保管するものとする。

付則

この協定書は、平成17年12月 1日から効力を生ずる。

協定締結日 平成17年 12 月 16 日

(甲) 足立区 本木1丁目南町会

会 長

柴田 健 

(乙) 医療法人社団 医善会 いずみ記念病院

理事長

小泉 和雄 

(立会人)

東京消防庁 西新井消防署

署 長

高萩 悦雄 